

姓名	性别	出生日期	民族	籍贯	文化程度	职业	工作单位	住址	联系电话	电子邮箱
张三	男	1980-01-01	汉族	北京市	高中	教师	北京市某中学	北京市某中学	139-0101-1234	zhangsan@163.com
李四	女	1985-05-15	汉族	上海市	大学	医生	上海市某医院	上海市某医院	139-0210-5678	lisi@163.com
王五	男	1990-08-20	汉族	广东省	初中	学生	广东省某中学	广东省某中学	139-0755-9012	wangwu@163.com
赵六	女	1992-11-10	汉族	浙江省	小学	学生	浙江省某小学	浙江省某小学	139-0571-3456	zhaoliu@163.com

Figure 2. The effect of the initial concentration of the monomer on the polymerization of α -methylstyrene initiated by BuLi in THF at -78°C for 10 min. The concentration of BuLi was 0.01 mol/L and the concentration of the initiator was 0.001 mol/L .

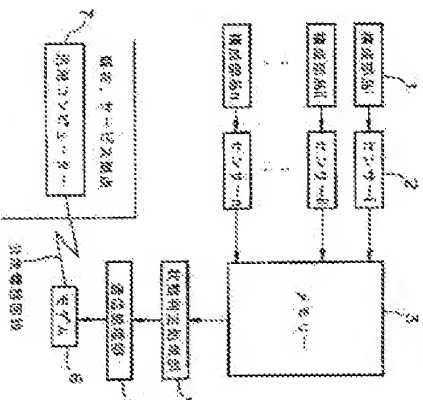
(21)出版番号	発期 74-148013
(22)出版日	平成 4 年(1992) 7 月 13 日
(71)出願人	読研0001087
	ホウシン株式会社
(72)発明者	渡辺 隆雄
	東京都大田区下丸子 3 丁目 30 番 2 号
	〒107
(73)出願人	ホウシ 隆一 (外 1 名)

[illegible]

60

【附】 英文摘要及关键词

【補説】 取得したモノはソノ附随の権限を喪失後の
の法關係を處理するで譲渡し、譲渡内容に對した著作
コピエ・ムーヴにそのモノの權利を譲渡處理する
を認める。



INDEX

【解説】 選挙戦から、議院選挙戦に付いて「スーパー」を
 提供するための多数の拠点を設置された道数の連立候補
 候補者に対して、前記選挙戦を「スーパー」により得た
 得票を「スーパー」が獲得する選挙戦の「スーパー」を
 「スーパー」が「スーパー」である。

[illegible]

和國政府は、前記モニタリング留保の趣意を判明し、前記留保の趣意に基づき、当該判明の結果に對する適格な

2000

[illegible]

【解説要】 被写機から、撮影距離に対して「カーテン」を映写するための絞りの位置は固定された絞りの透過領域と被写機に対して、前記撮影距離のミニマルゾナより得られたミニマルゾナ距離を送信する被写機のオプティカルミニマルゾナが……である状態において、

[illegible]

当該選考の組織委員会に対して、受託した委託モータリノグ情報を知悉することを特約とする契約書のオブラ・オムニタリノグヤウニモカス。

Abstract

1001

【産業上の利用分野】本発明は、利用者の複製権と、紙媒体の流通・コピーなどを行う拠点に設置された通信端末と、複製と印刷に公衆電話回線を利用して複製後の複製品を頒布せしめるサービスを実施するシステムおよび方法とに関するものである。

100023

【読者の投稿】従来、この種のおブツコンデニタリノモノでは、複写機が、モノクロを伴って公衆利用設備により、ある特定の版権、著作権の範囲に制限した利用コンデニモノ等の複製・複製には関係する構成となっている。

1003

[illegible]

これに答へてゐることは、明かに、彼等の言ふ通りである。

[6664]

[illegible][illegible]

【100651】第2の明細は、絶等差から、絶等差線により、
してヤードを非表示するための複数の境界線、光源とされた
複数の光源線と境界線に対して、前記光源線がモニタリッ
グにより得られたモニタリッグ情報を送信する前記光源
ヤードからモニタリッグヤードへ光線において、前記モニ
タリッグ情報の検知に、当該モニタリッグ情報の送信
先の通信端末装置と前記光源線とを予め定め、前記通信端
末から前記複数の通信端末装置の中の特定の通信端末装置
に対して前記モニタリッグ情報を送信し、当該モニタリッ
グ情報を受信した特定の通信端末装置は、当該モニタリッ
グ情報の検知の検知を判定し、前記検知結果に基づき、当
該通信端末装置の検知結果を判定し、前記検知結果に基
き、前記通信端末装置は、前記検知した検知をモニタリッ
グ情報を転送することとを特徴とする。

1999

【作例】第1の作例は、被写体がエニヤノイの静寂の情景に對照の静寂な被写體を強調し、その静寂な被写體をエニヤノイの静寂を強調する。

【0007】第2の886号、特許出願未決中の発明に係る請求書の送達を拒絶する旨の通知を受けることになった。

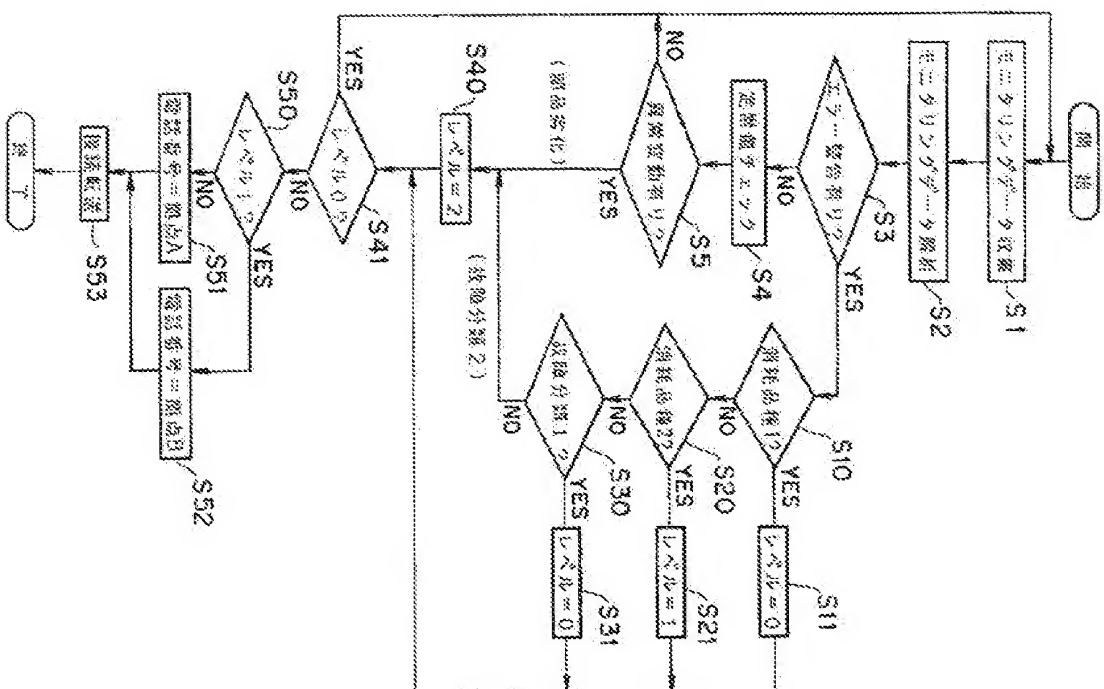
[0000]

【附註】此種「新學制」係由教育部擬定，各省遵照辦理。

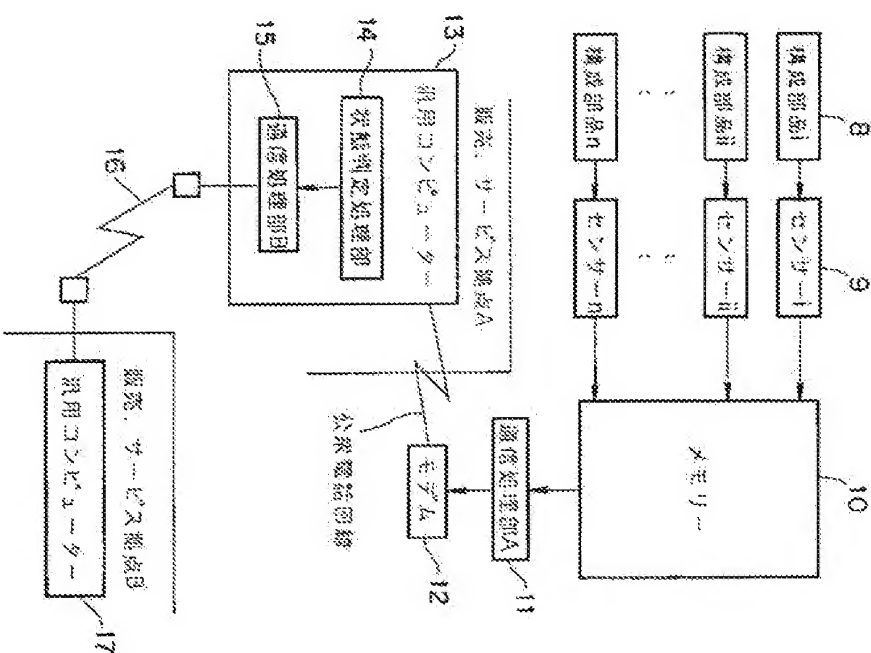
0691

[illegible]

【図2】



【図3】



公開特許公報(A) 昭63-59622

発明者 佐藤 昭 住所 東京都港区三丁目3番30号2号
代理人 佐藤 昭 住所 東京都港区三丁目3番30号2号
発明の名称 出力装置

発明の名称 出力装置

特許 昭63-59622
出願 昭63(1988)5月30日

発明者 佐藤 昭 住所 東京都港区三丁目3番30号2号
代理人 佐藤 昭 住所 東京都港区三丁目3番30号2号

発明の名称 出力装置

1. 発明の名称

出力装置

2. 発明の名称

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

出力装置

第 8 図

```

graph TD
    A([入札開始日  
5/20]) --> B([入札終了日  
5/22])
    B --> C([作業日数  
5/23])
    C --> D([入札開始日  
5/24])
  
```

```

graph TD
    S40([S40: Start]) --> S41{S41: Is the number of the input data 1000 or more?}
    S41 -- YES --> S42[S42: The number of the input data is 1000 or more.]
    S41 -- NO --> S43[S43: The number of the input data is less than 1000.]
    S42 --> S44[S44: The number of the input data is 1000 or more.]
    S43 --> S44[S44: The number of the input data is 1000 or more.]
    S44 --> S45([S45: End])
  
```

The flowchart illustrates the first embodiment of the present invention. It begins with a start node S40, which leads to a decision node S41. S41 asks, "Is the number of the input data 1000 or more?". If the answer is YES, it proceeds to process node S42, which states "The number of the input data is 1000 or more.". If the answer is NO, it proceeds to process node S43, which states "The number of the input data is less than 1000.". Both S42 and S43 lead to a common process node S44, which states "The number of the input data is 1000 or more.". From S44, the flow proceeds to the end node S45.

卷之五

- Translation -

OFFICE ACTION

Patent Application No. 2003-405519

Drafted Date: August 18, 2009

Patent Office Examiner: Fumio KOMIYAMA 4468 2P00

Agent(s) for Applicant(s): RIKOH COMPANY, LTD.

Applied Article(s): Article 29 Paragraph 2

This application should be rejected for the following reasons. Any opinion about this rejection can be submitted in a Response within 60 days from the mailing date of this Office Action.

Reason

The claims listed below are unpatentable under Article 29 Paragraph 2, because a person with ordinary skill in the art to which the invention pertains could have easily made the invention prior to the filing of the patent application on the basis of an invention(s) disclosed in the following publications which were distributed in or outside of Japan before filing of the application or on the basis of an invention(s) available to public through electronic communication lines (e.g. Internet etc.) in or outside of Japan before filing of the application.

Remarks (Refer to List of Cited References)

[claims 1-5]
[reference 1]

In the reference 1, the error code is registered in the error skip table. When the error corresponding to the error code registered in the error skip table occurs, the reference 1 automatically resets the error to continue the process. When the other error occurs, the reference 1 stops the output process and displays the error code on the status LED to prompt the user to input manually an instruction (Especially, see line 2 of upper-right portion of page 4 - line 19 of lower-left portion of page 4, and Fig. 19).

It is a conventional technique to classify the errors into each category and process the errors for each category (for example, see references 2 and 3). Therefore, a person with ordinary skill in the art to which the invention pertains could have easily modified the reference 1 to a configuration capable of registering the errors for each category and displaying the error message and the operation-guiding message when the manual recovery process is set.

List of Cited References

1. Japanese Patent Application Publication No. S63-059622

Reference No. PH051086 Dispatch No. 550323 Mailing Date: August 25, 2009

2. Japanese Patent Application Publication No. 2002-311759
3. Japanese Patent Application Publication No. H06-030146

Record of Results of Search for Prior Art

Searched field: IPC	B41J 29/42, 29/46
Prior art document	G06F 3/12 Japanese Patent Application Publication No. 2000-153664

特許出願理由通知書

特許出願の番号

特願2003-493519

起案日

平成21年 8月18日

特許庁審査官

小宮山 文男

特許出願人

株式会社リコー 様

通出条文

第29条第2項

4468 2P00

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見が

ありましたが、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してくだ

さい。

理 由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記の特許出願に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

(引用文献等については引用文献等一覧参照)

・請求項1～3

・引用文献1

引用文献1には、エラー発生時に自動的にエラーをリセットして処理を続行させるたいエラーのエラーコードをエラー・プログラムに登録しておき、エラー・プログラムに登録されたエラーが発生した場合そのまま自動的にエラーをリセットして処理を続行し、他のエラーについては出力処理を停止させてエラーコードをエラー・プログラムに表現してオペレータの介入をさせることが記載されている。(特に、第4頁の上欄第2行目～左下欄第19行、第9図参照)。エラーをカテゴリー別に分類してカテゴリー毎に処理を進めることは周知の技術であり(例えば、引用文献2、3等参照)、引用文献1記載の発明において、エラーをカテゴリー毎に登録可能な構成すること、及び、ユーザ操作による回復処理が設定されている場合にエラー・プログラムと操作案内メニューを表示させることは、いずれも当業者が容易になし得たことである。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開昭63-039622号公報

整理番号 PH051086
発注番号 550323 2/E
発注日 平成21年 8月23日

2.特開2002-311759号公報
3.特開平08-030146号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 IFC B41J 29/42, 29/46
G06F 3/12
・先行技術文献 特開2000-135664号公報

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません

この拒絶理由通知の内容に関する問い合わせ、または面接の希望がありましたら下記まで連絡下さい。

特許審査第一部 印刷・ブロッター 大浜登世子
TEL. 03-3581-1101 内線3261